

文部科学省教科調査官監修

2021年度版

「主体的・対話的で深い学び」を意識した

教科指導 ヒントとアイデア

8/9月号の内容

▶ 国語科

- 小一 なつやすみニュースのじかんです
三びきのあおむしはどうかをよもう
- 小二 読んで考えたことをかんそうにまとめよう
そうぞうしたことを、音読げきであらわそう



▶ 算数科

- 小一 10より大きい数
なんじ なんじはん
- 小二 ひっ算のしかたを考えよう
さんかくやしかくの形をしらべよう



▶ 生活科

- 小一 いきものとなかよし
あきをさがそう
- 小二 おもちゃで わくわく 大作せん
こうえんの すてき みいつけた！



▶ 体育科

- 小一 フレンドパーク
はしって！ つくって！ ラン・ラン・ランド
- 小二 友達といっしょに運動スイッチオン！
ピョンピョン島を旅して ためよう！ ジャンプパワー！！

※学習活動の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関わる各自治体の対応方針を踏まえるなど、子供の安全確保に十分配慮してください。

領域 A話すこと・聞くこと
なつやすみニュースの
じかんです

—ともだちのなつやすみの
できごとをしゅうちゅうしてきく—
教材名「ききたいな、ともだちのはなし」

執筆 東京学芸大学附属大泉小学校教諭 山下美香
編集委員 文部科学省教科調査官 大塚健太郎
東京学芸大学附属小金井小学校教諭 成家雅史

光村図書 一年上

年間指導計画

4/5月	どうぞよろしく はなのみち
6/7月	くちばし こんなことがあったよ
8/9月	ききたいな、ともだちのはなし やくそく
10/11月	しらせたいなみせたいな じどう車くらへ
12/1月	てがみでしらせよう ききたいな、ともだちのはなし
2/3月	ずうっと、ずっと、大すぎだよ いいこといっぱい 一年生

1 単元で付けたい資質・能力

①身に付けたい資質・能力

夏休み明けというのは、一年生にとっては楽しかった出来事を話したい、誰かに聞いてもらいたいという意欲が増す時期です。そのような一年生の意欲を大切にしながら単元づくりをしていきます。しかし、話し手の知らせたい事柄を集中して聞くことはまだまだ不慣れです。そこで、本単元のねらいは、話し手の知らせたいことを集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ力を育みます。そのために、話し手の伝えたいことを考え、話の内容を具体的に想像しながら聞く力が必要となる場の設定を工夫していきます。

②言語活動とその特徴

「友達の夏休みニュース（夏休みの出来事）をよく聞き、質問や感想を述べる」という言語活動を位置付けます。友達の夏休みの出来事を「夏休みニュース」と捉え、聞くことへの意識を高めます。友達の話したい、とっておきの夏休みの出来事を聞き落とさないように集中して聞きます。その学習の様子から「夏休みニュースの時間です」という単元名にしています。

活動方法としては、国語の授業時間内に、全員の発表をするという方

2 単元の展開（2時間扱い）

次 時 主な学習活動

二	一
2	1
<ul style="list-style-type: none"> ◎学級全体で夏休みの出来事を発表して、聞き合う。 ・「夏休みニュース」を全員の前で発表して聞き、質問や感想を伝え合う。 ・「夏休みニュース」を聞き合った感想を発表し合う。 <p>▼アイデア3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習の見通しをもち、夏休みの出来事を想起し、発表することを決める。 ・夏休みの出来事を話す活動への見通しをもつ。 <p>▼アイデア1・3</p> <p>学習課題 クラスの みんなの なつやすみの ニュースを きこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの出来事をふり返る。 ・ペアで夏休みの出来事を話して話題を決める。 ・「夏休みニュース」にしたい出来事を選び、文にし、練習する。 <p>▼アイデア2</p>

指導事項…（知識及び技能）（1）ア

（思考力、判断力、表現力等）A（1）エ 言語活動例 ア

法だけでなく、朝の会などの時間に、継続的に発表するという方法も考えられます。学級の実態に合わせて選択し、継続的な取り組みになるとよいでしょう。

発展的な学びとしては、朝の会などで「ニュースの時間」として、ほかのテーマで継続的に友達の話を聞くという活動が想定できます。

アイデア1

活動のモデルを見て、学習の見通しをもつ

主体的な学び

見通しをもつて学習に取り組むことが子供の主体的な学びへとつながります。教師の「夏休みニュース」の動画を撮影し、「夏休みニュースの時間です」と番組風に制作できるとよいでしょう。一人だけでなく複数の教師での質問や感想のやり取りの動画にすることで、この単元で身に付けた力も明確になります。また、子供は「面白そう」「私もやってみたい」という気持ちになります。

なつやすみニュースのじかんです

何色の花が咲きましたか

私は、毎日、アサガオの水やりをしました。夏休み中にきれいな花が咲きました

青色とピンク色の花が咲きました。

アサガオの水やりをしていることを考えながら聞きます

どのよう話を聞いたら、○○先生のように質問できますか

アサガオの水やりをしよう

様子思い浮かべながら聞きましょう

この単元で大切にしたいことは、話し手の知らせたいことを集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ力を育むことです。どんな聞き方が大切なのか、聞き方の観点を子供と一緒に考えていくと、単元のふり返りにもつながっていきます。

アイデア2

ペアで夏休みの出来事を話し、話題を決める

対話的な学び

まず、ペアで「夏休みニュース」の題材を探するために、夏休みの出来事を話します。十分に距離を取って、ペアで話すように伝えましょう。

夏休みの宿題で、絵日記を出しているクラスも多いと考えられますので、夏休みの絵日記を活用していくと、話題が豊富になります。それから、ペアで話した話題をいくつかノートに書いていくとよいでしょう。話しながら付け加えてもよいことにします。

その後、決めた話題に赤丸を付けます。

夏休みに何をしましたの？
僕は、花火をしたよ

サッカ一の練習をしたよ。
点を入れられてうれしかったよ

おじいちゃん家に行ってきたよ。せみ取りをしたよ

私は、ピアノの発表会があったよ。とても緊張したのよ

① はなびをした。
② さつかのれんしゅつをした。
③ おじいちゃんちにいった。
④ ぶつるで、およいだ。そうめんを たべた。
⑤

「僕は、サッカーの練習をしました。点を入れられて、とても嬉しかったです」と話そう

サッカーの練習をしたことを話そう

アイデア3

「夏休みニュースの時間です」発表会をふり返る

深い学び

第一時で動画を視聴しながら話し合った聞き方の観点をふり返ります。一年生であっても、すべての観点を教師側から示すのではなく、話し合いながら観点をつくり、足りないところを補うというようにしていきます。そうすることで、聞くことへの意識が高まります。

友達に感想や質問を伝えるために、どんなことに気を付けて聞きましたか

夏休みに何が楽しかったのかを考えながら聞きました

まず、何をしたら順番を考えながら聞きました

聞く

① 夏休みに何が楽しかったのかを考えながらニュースを聞くことができた。
② 何をしたらか、順序を考えながらニュースを聞くことができた。
③ 相手のニュースの様子を思い浮かべながら聞くことができた。
④ 相手のニュースについて、質問したり、感想を伝えたりすることができた。

クラスで話し合っ決めて、話し手の知らせたいことを集中して聞くときの観点を自己評価します。一年生の発達段階を考え、「○○△△」などの記号で自己評価し、今後も積み上げていきたいです。聞くときの観点は、教室に掲示して、国語の授業の時間だけでなく、様々な活動で継続していくとよいでしょう。

領域 C 読むこと

三びぎのあおむしは どうしたかをよもう

教材名「やくそく」

光村図書 一年上

執筆 東京学芸大学附属大泉小学校教諭 山下美香
編集委員 文部科学省教科調査官 大塚健太郎
東京学芸大学附属小金井小学校教諭 成家雅史

年間指導計画

- 4/5月 どうぞよろしく はなのみち
- 6/7月 くちばし こんなことがあったよ
- 8/9月 ききたいな、ともだちのはなし やくそく
- 10/11月 しらせたいなみせたいな じどう車くらへ
- 12/1月 てがみでしらせよう ききたいな、ともだちのはなし
- 2/3月 ずうっと、ずっと、大すぎだよ いいこといっぱい 一年生

1 単元で付けたい資質・能力

①身に付けたい資質・能力

本単元では、場面の様子や登場人物の行動などに着目し、内容の大体を捉える力を育てていきます。そのためには、「誰が」「何をしたか」「何を言ったか」、そして「どうなったか」を読み取ることが大切になってきます。挿絵を有効に活用することと、時を表す言葉に着目し、物語の登場人物や主な出来事、結末などの内容の大体を捉えることができるようにしていきます。

②言語活動とその特徴

自分のことだけを覚えてけんかをしていた三匹のあおむしが、広い世界に驚き、「それなら、みんなでいこう」と一緒に海に行くことを「やくそく」する物語です。

活動方法としては、音読を通して、場面の様子や登場人物の行動などに着目し、内容の大体を捉える力を育てることで読み進めていきます。三匹のあおむしは、どれも「じぶんとそっくり」であり、初読では、三匹のあおむしの違いは容易に読み取れないかもしれません。

そこで、挿絵が有効になります。挿絵を活用しながら、音読を通して、「誰（どのあおむし）が」「何を」「話しているのか」、「どこで」「どんな

2 単元の展開（8時間扱い）

次時 主な学習活動

「な」行動をしているのかを考えていくとよいでしょう。そっくりなあおむしだけでも、食べ方の違いや言い方の違いに気付いていくでしょう。三匹のあおむしが一緒に出てくる物語の後半では、ペープサートを使い、三匹のあおむしの位置関係についても考えていきます。

指導事項…（知識及び技能）（1）ク

（思考力、判断力、表現力等）C（1）イ 言語活動例 イ

三	二	一
7・8	3～6	1・2
<ul style="list-style-type: none"> ● 第二次で読んだことを基に、音読する。 ● 題名の「やくそく」について考える。 <p style="text-align: right;">▼ アイデア3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 挿絵と結び付けて、場面ごとの内容の大体を読む。 ● 1～5の場面を音読し、三匹のあおむしの行動を読む。 <p style="text-align: right;">▼ アイデア1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 題名から物語の内容を予想して範読を聞き、感想を出し合う。 ● 「やくそく」という言葉について知っていることを出し合う。 ● 登場人物の行動に着目して、物語の展開を読み取る。 ● 学習計画を立てて、見直しをもつ。 <p style="text-align: right;">▼ アイデア3</p> <p>学習課題 三びぎのあおむしは、どうしたかをよもう</p>

アイデア1 挿絵とペープサートを活用して登場人物の行動を読む **主体的な学び**

「一匹目のあおむし」「二匹目のあおむし」「三匹目のあおむし」と言葉だけでは、登場人物を確認することが難しい子供もいると想定されます。この三匹のあおむしは、「じぶん」とそっくりなのです。そこで、挿絵を活用します。

三匹のあおむしをペープサートにし、三匹のあおむしのいる場所を場面ごとに確認していくことが、あおむしの行動を読んでいくことにつながります。

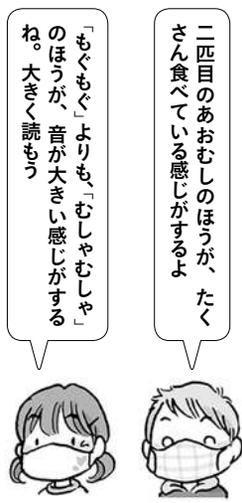


子供は、三匹のあおむしのペープサートを動かしながら、意欲的に読んでいくことが予想されます。ペープサートを動かしていくことが、あおむしの行動をどのように読めているのかを視覚化でき、教師も見とることができそうです。

アイデア2 登場人物の行動の様子の違いを音読に生かす **対話的な学び**

「やくそく」には、オノマトベが何度も使われています。二匹目のあおむしは「むしゃむしゃむしゃむしゃ」、三匹目のあおむしは「もりもりもりもり」と木の葉を食べています。容姿はそっくりなあおむしですが、食べ方の様子が違うことから、まったく同じあおむしではないと捉えることができるでしょう。やくそくをした後の場面では、「くんねり くんねり」と三匹が木の枝を下りていくオノマトベが使われています。大げんかをしていたときは違い、「くんねり くんねり」と三匹の行動は同じ言葉で表現され、三匹の動きが揃っていることにも、話し合いを通して気付かせていきます。「食べる」という行動には、「もぐもぐ」「むしゃむしゃ」「ぱりぱり」「ちびちび」とさまざまなオノマトベがありますが、その言葉によって食べる様子が変わっていきます。

この様子の違いを話し合い、動作化も加え、音読に表現していきるとよいでしょう。十分な間隔を取って、音読の練習をさせましょう。



アイデア3 三匹が「やくそく」した場面と自分の経験を結び付けて読む **深い学び**

「やくそく」という題名を手がかりにして、どのような話が展開されるかを予想しながら、読み進めていきます。子供は、題名にもなっている「やくそく」をした三匹のあおむしの行動が大事であると気付くでしょう。「やくそく」という言葉について、子供の生活経験からのそれぞれのイメージを大切に、三匹のあおむしが約束をした場面と結び付けて読んでいく学習にします。

子供の約束をした経験を掘り起こし、クラスで共有する活動を通して、三匹のあおむしの行動の読みがより確かなものになります。



10より大きい数

執筆：お茶の水女子大学附属小学校教諭 久下谷明
 編集委員：文部科学省教科調査官 笠井健一
 東京都目黒区立八雲小学校校長 長谷 豊

年間指導計画

- 4/5月 いくつと いくつ
なんばんめ
- 6/7月 のこりは いくつ、ちがいは いくつ
どちらが ながい
- 8/9月 10より おおきいかず
なんじ なんじはん
- 10/11月 たしざん
ひきざん
- 12/1月 いろいろな かたち
大きい かず
- 2/3月 ずを つかって かんがえよう
かたちづくり

本時のねらいと評価規準 (本時5/9時)

- ねらい** 数直線について知り、数直線で数が表せることや、20までの数についての大小や系列を理解する。
- 評価規準** 数直線の特徴や性質(0が基点、等間隔の目盛り、左から右に順に1ずつ大きくなるなど)を理解し、数直線を用いて数の大小や系列について考えている。

もんだい

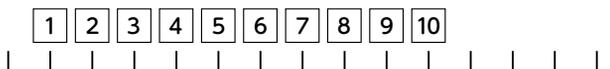
かずカードをじゅんにならべよう。



- T：①、②、③と順に数が並んでいます。この続きを考えて、数カードを並べていきます。次はどんな数が並びますか。
 C：4になります。
 T：どうしてそう考えましたか。
 C：だって、①、②、③と1ずつ増えているから。
 T：そうですね。では、その次は？

※やりとりを通して、①～⑩までの数カードを並べていきます。途中、間隔や位置をバラバラにして貼ることで、「きれいに並べて！」といった言葉を引き出しながら、等間隔に数カードを並べます。その後、数カードの下に直線を引き、「かずのせん」をつくります。

- T：1の左にくるのは、どんな数ですか。
 C：0。



- T：そうですね。そして、このように数を並べた線のことを「かずのせん」といいます。数の線と仲よくなるために、数の線をつかっていろいろ考えたいと思います。

学習のねらい | かずのせんの□はいくつかな？ ともだちにせつめいしよう！



見通し

- T：右に進んでいくと、数の大きさはどうなっていくですか。
 (右に進むということが伝わるように、数の線の下に矢印 → を入れます)
 C：大きくなっていきます。
 C：1ずつ大きくなっていきます。

そうですね。では、今言ってくれたことを基に、□はいくつになるのか考えてみましょう。分かったら、どうしてその数になるのか、お友達に説明できるようにしましょう。



自力解決の様子

自力解決の際には、上のようなワークシートを配付して、ワークシートに考えを書きこんだり、指で示したりして、自分の考えを友達に伝えられるようにしたいです。

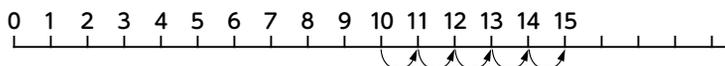
A つまずいている子

数の線に戸惑い、どのように数の線を捉えたらよいのか分からない。

B 素朴に解いている子

15 という数は分かっているが、その理由を説明することができない。

C ねらい通りに解いている子



15 になるよ。1 ずつ増えているから、10 から数えて、11、12、13、14、15 だから 15。

学び合いの計画

見通しをもって自力解決に入ったとしても、初めて出会う「かずのせん」に戸惑う子もいます。考えている最中であればその姿勢を価値付けて励まし、悩んでいるようであれば「10の右はいくつかな？ 11の右はいくつかな？」と問いかけ、解決の糸口をつかめるようにします。

また、友達と説明し合う時間は、自分の考えを相手に伝える力を育むことや、さまざまな考え方を知るといった意味でも大切であるため、そのような時間を取り入れていきます。そのとき、「自分の説明と同じかな？ 違うかな？」と考えながら聞くことができるように声かけをしたいものです。

全体発表とそれぞれの考えの関連付け

T：□に入る数はいくつになりますか。

C：15です。

T：どうして15だと分かるのですか。

C：10、11、12、13、14と考えると、15になります。

C：10から1ずつ増えていくので、□は15です。

T：15でよさそうですね。ところで、15ってどんな数かと言われたら、みなさんはなんと説明しますか。

C：15は、10と5を合わせた数です。

C：10より5大きい数です。

T：本当にそうなっているのか、数の線で確かめてみましょう。

15になる理由を説明するなかで、改めて数の線は右のほうが数が大きくなることや、1ずつ数が大きくなっていくことを確認していきます。あわせて、15という数が「10と5を合わせた数」や「10より5大きい数」であることを、子供の説明と数の線を関連付けながら確認していきましょう。加えて、「11、12、13、14、15」という考えを基に、右の目盛りにも16、17、18、19、20と数を入れていき、さらには「右に数の線を伸ばしていったら、20の次はいくつになるかな？」「21」「次は？」「22」「次は？」「23」……といったやりとりを通して、数の線は右にどんどん続いていくという見方もつかませていきます。

学習のまとめ

上記のやりとりを通して子供から出された数の線の特徴や性質が学習のまとめになります。まとめる際には、子供から出された特徴や性質を、なるべく子供の言葉でまとめていくようにしたいです。そうすることで、自分たちで算数の学びをつくっているという意識をもたせることにつながると考えます。

なお、まとめの2つ目「数の線は、1ずつ多くなっている」は、本時で扱った数の線には言えますが、例えば、0、2、4、6…、のような2飛びの数の線

の場合には言えません。次時で2飛びの数の線も示し、1ずつ増える数の線と比べることで、数の線に対する理解を深めていきたいです。

まとめ

- かずのせんでは、右にあるほうが、かずは大きくなる。
- かずのせんは、1ずつ大きくなっている。

評価問題として活用するゲーム

『かずあてゲーム かずのせんをもとにかんがえよう！』

次のように順にヒントを出す。

- ① 10より大きい数です。(数の線のどこにある数かな？ 10より左にある数かな？ 右にある数かな？)
- ② 15より小さい数です。(数の線のどこにある数かな？ 15より左にある数かな？ 右にある数かな？)
- ③ 10より2大きい数です。(15より3小さい数です)

教科書の問題などを基に確認するだけでなく、左のようなゲーム形式での評価問題も取り入れ、数当てゲームを楽しみながら、数の線に親しむ活動を取り入れていきたいです。また、子供自身で問題をつくり、同じグループの友達に出し、答えを説明するという活動も取り入れることで、友達と学び合う姿勢や、学びに向かう姿勢を育んでいければよいですね。

なんじ なんじはん

執筆：鳥根県松江立義務教育学校八東学園教諭 肥後和子
 編集委員：文部科学省教科調査官 笠井健一
 東京都目黒区立八雲小学校校長 長谷 豊

年間指導計画

- 4/5月 いくつと いくつ
なんばんめ
- 6/7月 のこりは いくつ、ちがいは いくつ
どちらが ながい
- 8/9月 10より おおきかず
なんじ なんじはん
- 10/11月 たしざん
ひきざん
- 12/1月 いろいろな かたち
大きい かず
- 2/3月 ずを つかって かんがえよう
かたちづくり

本時のねらいと評価規準 (本時1/1時)

ねらい 時計を見て、何時、何時半を読み取ることができる。日常生活と時刻を関連付けて考え、生活に生かす。

評価規準 ・時計の短針と長針の位置を基に時刻の読み方を考え、説明している。
 ・日常生活の場面と時刻を結び付けて、時刻を考えている。

もんだい とけいを よみましょう。



T：みなさんは、今朝、何時に起きましたか。
 C：7時です。
 C：6時半です。
 T：では、この女の子は何時に起きたのでしょうか。
 C：6時です。
 T：どうして6時だとわかりますか。
 C：6とかいてあるから6時です。
 T：そうですね。こちらの時計では、短い針が6を、長い針が12を指しています。このとき、短い針を見て、6時と読みます。
 T：では、ご飯を食べているのは何時ですか。
 C：7時です。
 C：短い針が7で長い針が12だから、7時です。
 T：では、顔を洗っている時刻はなんと読みばよいでしょうか。

学習のねらい | このとけいは、どうよめばよいのかな。



見通し

6時と7時の読み方を思い出して考えよう。



6時は短い針が6、長い針が12。7時は短い針が7、長い針が12。



何時のときは、長い針が12だね。長い針が6のときはなんと読むのかな？



長い針が12のときは、短い針の指す数字だけを読んで何時としましたね。今度は短い針が6です。短い針が6のときは、「なんじはん」と読みます。

自力解決の様子

A つまずいている子



短い針が6と7の間だから7時半かな。

B 素朴に解いている子



長い針は6にあるから何時ではなさそうだね。

C ねらい通りに解いている子



6時と7時の間でまだ7時になっていないから、6時半だと思う。

学び合いの計画

自力解決は2人か3人のグループでの話し合いにします。その際に、時計模型を手元に置いて操作をしながら考えるようにします。なん時、なん時半の読みは就学前までにできるようになっている子供も多いですが、漠然と読んでいる子供もいます。

見通して、「なん時と読むのは短い針の数字で

あること、そのとき長い針は12を指していること」を確認して自力解決に入るとよいでしょう。

また、なん時を分かっているだけでなく、その理由を言えることが大事であることを確認し、自力解決では、「私はこう思う！」という考えを一人ひとりの子供が言えるようにすることが大切です。

全体発表とそれぞれの考えの関連付け

T：顔を洗っているときの時計は、7時半という意味と、6時半という意見がありますが、どちらでしょうか。どうやって調べたらよいでしょうか。

C：時計を持って、6時からゆっくり動かしてみればよいと思います。

T：では、時計の針を6時から動かします。針の動きをよく観察しましょう。



C：時計の針は、右回りに回るのでね。

C：長い針はたくさん動いて、短い針は少しずつ動くね。

C：短い針だけ見ていると、6からだんだん7に近付いていくことが分かりますね。

T：顔を洗っているときの時計は、6時と7時の間のどのあたりと言ったらよいですか。

C：ちょうど真ん中です。

T：短い針を見ると、6を過ぎていて、まだ7になっていませんね。顔を洗っているときの時計は6時とあと半分過ぎているので、「6じはん」と読みます。

学習のまとめ

時計を読むときには、短い針を先に読みます。短い針の指す数字でなん時かが分かります。

短い針が、数字と数字の真ん中のときは、過ぎた数字を使って、「なん時はん」と読みます。

評価問題

短い針と長い針をよく見て、なん時、なん時半が分かるようになってきているか確かめましょう。

① とけいを よみましょう。

①なんじでしょうか。



() じ



() じ



() じはん



() じはん

② 9じはんの とけいを えらんで、() に まるをつけましょう。



()



()



()

子供に期待する解答の具体例

②では、正しく時計をよめるだけでなく、どうしてそうなるかを話せるとなおよい。

本時の評価規準を達成した子供の具体の姿

•なん時、なん時半を正しく読むことができる。

感想例



時計を読むときは、短い針の場所を考えてから、長い針の場所を見ればよいことが分かりました。



なん時半のときは、短い針が数字と数字の間にきて、前の数字を読めばよいことが分かりました。

いきものとなかよし

執筆：青森県三沢市立岡三沢小学校教諭 上山香子
 編集委員：前・文部科学省教科調査官 渋谷一典
 文部科学省教科調査官／愛知淑徳大学准教授 加藤 智
 青森県六ヶ所村教育委員会
 学務課指導グループマネージャー 木村 智

年間指導計画

- 4/5月 がっこうだいすき
はるをさがそう
- 6/7月 きれいにさいてね
なつがやってきた
- 8/9月 **いきものとなかよし**
あきをさがそう
- 10/11月 あきのおもちやをつくろう
むかしからつたわるあそびをたのしもう
- 12/1月 じぶんでできるよ
ふゆをたのしもう
- 2/3月 しん一年生に学校のことをつたえよう
もうすぐ二年生

期待する子供の姿

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
生き物を飼育する活動を通して、生き物が自分たちと同じように生命をもっていることや、成長していることに気付く。	生き物を飼育する活動を通して、生き物の特徴や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。	生き物を飼育する活動を通して、生き物への親しみをもち、進んで世話をするなどして、生き物を大切にしようとする。

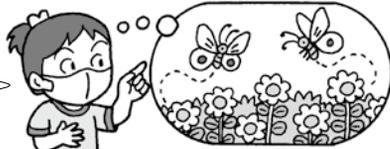
単元の流れ（6時間）

学習の流れ

評価規準等

- 学校のまわりの生き物について知っていることを話そう（2時間）
 - ・知っている生き物の種類やすみかについて、知っていることを出し合う。
 - ・生き物を探しに行く（準備物：虫かご、水槽、虫網、軍手）。

お花の近くにアゲハチョウがいたよ。



- 知 生き物の特徴や育つ場所について気付いている。
- 思 生き物のいそうな場所を予想したり、そこに生き物があるわけを考えたりしながら、生き物を見付けている。

田んぼにオタマジャクシがいたよ。



- 見付けた生き物について調べよう（2時間＋常時活動）
 - ・生き物ごとにグループになり、生き物の特徴や世話のしかたを本やインターネットで調べたり、身近にいる詳しい人に聞いたりする。
 - ・生き物の世話をする。

オタマジャクシは何を食べるのかな。



- 思 生き物と適切に触れ合うために必要なことを、自分なりの方法で調べ、世話をしている。



この図鑑を見ると分かるよ。

- 飼育した生き物のことを紹介し合おう（2時間）
 - ・特徴や発見したことや感じたことを紹介し合う。
 - ※多様な表現方法：実物や写真、絵を見せて紹介、身体表現、音楽、絵本作りなどのさまざまな表現方法で紹介し合う。
 - ・学習後も継続して世話をしていくか、元々いた場所に返すかについて、自分の思いや生き物の気持ちを考えながら話し合う。
 - ・学習のふり返しをする。

- 知 生き物には、それぞれ特徴や生命があることに気付いている。
- 思 世話をしてきた生き物との関わりをふり返し、気付きや思いを自分なりの方法で表現したり伝えたりしている。
- 態 生き物に親しみや愛着をもち、これからも大切にしようとしている。

※評価規準等の●知＝知識・技能、●思＝思考・判断・表現、●態＝主体的に学習に取り組む態度の観点を示しています。

活動のポイント1 飼育活動を中心に学校生活を設計しよう。

教室の一角に飼育コーナーを設けて、休み時間などにすぐ触れ合える環境を整えることで、子供たちは生き物の特徴に気付いたり、友達同士で教え合ったりするようになります。そうすることで、自分たちが探してきた生き物への愛着が増すとともに、気付きを広げたり、深めたりすることができるでしょう。生き物が苦手な子供は、これまで生き物と触れ合う機会が少なかったことが考えられます。その子供たちにとっては、生き物に触れる機会が増えることで、次第に興味・関心をもつきっかけとなるでしょう。

飼育コーナーには、図鑑やカメラ、タブレットなどを用意しておくことで、自ら調べたり、記録を取ったりするなど、より主体的な活動を行うことが考えられます。

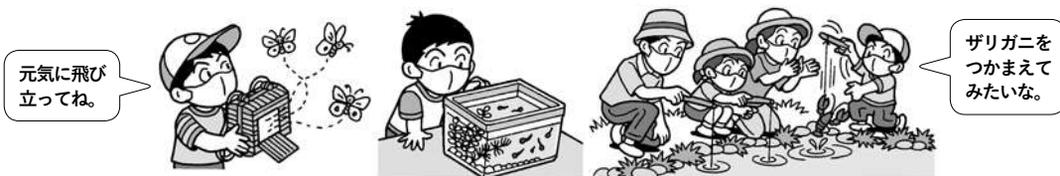


活動のポイント2 夏休みの課題や家庭学習と関連させた活動を工夫しよう。

この単元では、生き物も自分たちと同じように生命をもっていることや、成長していることに気付くこと、生き物を大切にしようとする態度を育てることがねらいとなっています。そこで、単元の後半に、このまま継続して世話をしていくか、元々いた場所に戻すかについて考える場面を設定します。

アゲハチョウの気持ちを考えて、羽化したら虫かごから出してあげたいという子供、オタマジャクシがカエルになるまで自分が世話をしてあげたいという子供など、一人ひとりの思いや願いはさまざまです。そこで、教室で飼っていた生き物を連れて帰って世話をすることや保護者と一緒に生き物の採集や飼育することを、夏休みの課題や家庭学習として取り組ませることもできます。

これらは、発展的な学習となるため、より生き物への愛着が増したり、多様な生き物と触れ合ったりする機会をつくることにもなります。これらの学習を経ることで、どの生き物の生命も大切であることを実感することとなるでしょう。



評価のポイント 日常の飼育活動での気付きを反映できる環境を構成しよう。

活動のポイント1でも述べたように、教室の一角に飼育コーナーを設けることで、子供たちの主体的な活動が広がります。そこでの気付きを全体で共有するために、教師は子供たちが活動している様子を撮影しておくことが大切です。後でその写真や動画を見せ、発見したことやそのときに考えていたことを発表する機会を設けることで、日常の飼育活動を全体の共有の場で反映させることができます。また、子供たちがその場で交流できるよう、見付けたことや考えたことなどを自由に書いて貼れる付箋を用意することで、直接その場で子供同士が交流することができます。

このような活動の前後の子供たちの姿を見とり、価値付けることが評価につながります。



※学習活動の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関わる各自治体の対応方針を踏まえるなど、子供の安全の確保に向けて十分配慮した計画を立てる必要があります。

あきをさがそう

執筆：青森県七戸町立天間林小学校教諭

編集委員：前・文部科学省教科調査官

文部科学省教科調査官／愛知淑徳大学准教授

青森県六ヶ所村教育委員会

学務課指導グループマネージャー

中原由利子

渋谷一典

加藤 智

木村 智

年間指導計画

4/5月 がっこうだいすき

はるをさがそう

6/7月 きれいにさいてね

なつがやってきた

8/9月 いきものとなかよし

あきをさがそう

10/11月 あきのおもちゃをつくろう

むかしからつたわるあそびをたのしもう

12/1月 じぶんでできるよ

ふゆをたのしもう

2/3月 しん一年生に学校のことをつたえよう

もうすぐ二年生

期待する子供の姿

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付く。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びを工夫してつくったりすることができる。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとする。

単元の流れ (10 時間)

学習の流れ	評価規準等
<p>○校庭で秋をさがそう (3 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭の秋さがしの計画を立てる。 校庭で秋をさがして遊ぶ。 見つけた秋を発表する。 	<p>●思 諸感覚を生かして、身近な自然に関わっている。</p> 
<p>○公園で秋をさがそう (3 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園の秋さがしの計画を立てる。 公園で秋をさがして遊ぶ。 見つけた秋をカードに書いて発表する。 	<p>●知 夏と秋の自然の様子や変化に気付いている。</p> <p>●思 これまでの学習や経験を想起して、秋の自然の特徴を探している。</p> 
<p>○葉っぱや実で遊ぼう (3 時間 + 図画工作科との関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園で見つけた秋について話し合う。 秋の自然物を使い、簡単な作品を作ったり遊んだりする。 作った物を紹介する。 	<p>●思 楽しみたい遊びを思い描きながら、遊びに使う物を選んでいく。</p> <p>●態 楽しみたいという思いや願いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びをつくり出そうとしている。</p>
<p>○秋のことを伝えよう (1 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭や公園で見つけた「あきのおすすめ」をカードに書いて紹介する。 	<p>●知 季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。</p> <p>●態 季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。</p> 

※評価規準等の ●知 = 知識・技能、●思 = 思考・判断・表現、●態 = 主体的に学習に取り組む態度の観点を示しています。

活動のポイント1 春や夏と「違うところ」や「同じところ」という視点で活動できる指導計画の工夫をしよう。

一年生は、登校途中に見付けた自然物を担任にプレゼントしてくれることがよくあります。そのときに季節を気付かせるチャンスです。「どこで見付けたの」と尋ねたり、それを身に付けて「どんな感じかな」と問いかけたりするとよいでしょう。そして、みんなにも紹介し、季節の移り変わりを共有していきます。子供の諸感覚を刺激するチャンスは生活科の時間のみならず、さまざまな場面に転がっているので、教師のアンテナを伸ばしておきましょう。

一年生は、活動や体験に熱中し没頭するなかで、さまざまなことに気付きますが、気付いたことを長く留めておくことが苦手です。そこで、校庭や公園に出かけた後に、春や夏に撮影しておいた写真や動画を見せて、「春や夏と変わったところはあるかな」などと発問し、相違点に気付かせるようにするとよいでしょう。また、「におい・手触り・形・大きさ・色・数」など、動植物を観察する際のポイントを春の時期に教えて教室に掲示しておくことで、共通点や相違点に気づきやすくなります。



活動のポイント2 生活科を中心とした合科的・関連的な指導で学習効果を高めよう。

春の時期の一年生は、文字で自分の思いを表現することは苦手です。そのため、自分の気持ちやふり返りを😊マークで表すことがよくあります。それでも活動後、ワークシートに書くことを繰り返していくうちに、短い文ながらも書けるようになってきます。書いた内容や書き方をほめてみんなに広めることで、子供たちは「そう書けばいいんだ」と真似をして書く力が上達していきます。

夏休み明けからの学習では、1枚ポートフォリオシートなど、変容が可視化できるワークシートを使うとよいでしょう。めあてとふり返りを書く活動を毎時間繰り返します。すると、最初の頃は数行しか書けなかった子供も、最後にはどんどん自分で書けるようになります。この経験がほかの教科にも生かされます。自分の思いを自分なりの表現で自信をもって書く子供が増えていきます。

また、見付けた秋を絵に表したり、葉や木の実を使って音づくりを楽しんだりすることなども考えられます。生活科を中心とした合科的・関連的な指導をすることで、学習効果を高めることが期待できます。



評価のポイント 体験と表現を繰り返し、気づきの質を高めよう。

活動のポイント2で述べた1枚ポートフォリオシートを使って、活動を進めていきます。毎時間めあてとふり返りを書くことによって、自分で見付けたことの再確認になります。また、友達の発表を聞くことによって、新たな気づきも生まれます。体験活動から表現活動に入るときに、①無自覚な気づきを価値付けて自覚化させる、②一つのことから過去も含めた他のことと関連させる、最終的には、③自分自身の成長に気付かせる、の三つを教師が意識して取り組むことが大切です。①から③のような気づきを授業で取り上げることで、気づきの質が高まっています。

1枚ポートフォリオシートに①～③のような記載が出てくると、概ね満足と評価してよいでしょう。

● 1枚ポートフォリオ (表面の一部)

<p>9/1 【はじめ】</p> <p>あきを見つけるために、たいせつなことはどんなことですか？</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	➔	<p>9/30 【おわり】</p> <p>あきを見つけるために、なことはどんなことですか？</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>うえにかいた【はじめ】と【おわり】をくらべて、あなたのかんがえはどうかわかりましたか？</p> <p>.....</p> <p>.....</p>		

※「はじめ」と「おわり」で同様の質問をし、単元後に考えが深まったことを気付かせる。

※裏面は授業ごとに「めあて」と「かんそう」を書く。

フレンドパーク

体づくりの運動遊び（多様な動きをつくる運動遊び）

執筆：東京都品川区立豊葉の杜学園主任教諭 諸星琢也
編集委員：国立教育政策研究所教育課程調査官 塩見英樹
東京都品川区教育委員会統括指導主事 唐澤好彦

年間指導計画

- 4/5月 体づくりの運動遊び（体ほぐし）
表現リズム遊び（表現・リズム）
- 6/7月 器械・器具を使つての運動遊び（固定施設）
水遊び
- 8/9月 体づくりの運動遊び（多様な動き）
走・跳の運動遊び（走）
- 10/11月 器械・器具を使つての運動遊び（鉄棒）
器械・器具を使つての運動遊び（跳び箱）
- 12/1月 ゲーム（ボールゲーム）
器械・器具を使つての運動遊び（マット）
- 2/3月 走・跳の運動遊び（跳）
ゲーム（鬼遊び）

授業づくりのポイント

「多様な動きをつくる運動遊び」は、「体のバランスをとる運動遊び」「体を移動する運動遊び」「用具を操作する運動遊び」「力試しの運動遊び」で構成されています。子供の「やってみたい」「もっとやりたい」という気持ちを満たすような楽しい運動遊びを通して、結果として基本的な体の動きを身に付けていくことをめざします。

体ほぐしの運動遊びと、取り上げる運動が似通ってることがありますが、「ねらい」が異なります。

例えば、用具を操作する運動遊びは、上手に用具を操作できるようにすることが「ねらい」ですが、体ほぐしの運動遊びで用具を用いる場合は、心と体の変化に気付くことや友達と関わり合ったりすることが「ねらい」となります。

楽しく運動遊びをしよう

- 運動遊びの行い方を知り、いろいろな運動遊びをやってみよう
- やってみたい、もっとやりたい運動遊びに取り組もう

運動遊びとの出会い

まずは、誰にでもできそうで、安心して取り組める易しい運動遊びに取り組み、心と体の準備を整えましょう。音楽に合わせて、合言葉を伝えたりするなど子供が夢中になって運動遊びに取り組めるような楽しさを散りばめていきます。また、子供の興味・関心の持続や、動きを身に付けるという趣旨を踏まえ、1単位時間に複数の運動を取り上げることが効果的です。教材の工夫と教師の働きかけによって、子供が夢中になって取り組める学習を展開していきます。

0分

心と体のスイッチオン（準備運動）

曲に合わせて、体を動かし、いろいろな部位をほぐしたり、元気に声を出したりして、心と体のスイッチオンができるようにしていきましょう。



リズムウォーキング



体じゃんけん



いろいろライン走り

運動遊び

子供一人ひとりの運動遊びをやってみる時間を大切にしましょう。まずは、誰でもできそうで、安心して取り組める易しい運動遊びを取り上げていきましょう。

●体のバランスをとる運動遊び

姿勢や方向、人数を変えて、回る・寝転ぶ・起きる・座る・立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊び。

〈例〉



背中合わせて立つ・座る



クルッとじゃんけん

●体を移動する運動遊び

姿勢・速さ・リズム・方向などを変えて、這う・歩く・走る・跳ぶ・はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでのかけ足などの運動遊び。

〈例〉



いろいろな跳び方



動物歩き

●力試しの運動遊び

人を押す・引く・運ぶ・支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊び。

〈例〉



なわを使った力比べ



体を支え、手や足を支点に回る

●用具を操作する運動遊び

用具をつかむ・持つ・降ろす・回す・転がす・くぐる・運ぶ・投げる・捕る・跳ぶ・用具に乗るなどの動きで構成される運動遊び。

〈運動遊び例〉



ボール



フープ



短なわ・長なわ



竹馬など

教師の言葉かけ

賞賛やアドバイスをを行い、子供たち自身が遊び方を考え広げていけるようにします。



安全に取り組もう！

上手だね！すごい！

どんなふう遊ぶのもっと楽しくできそうですか？

楽しそうな遊び方だね！どんな遊び方をしているのかな？

※危険な遊び方についてはすぐに止め、全体に指導しましょう。

45分

単元計画

※年間を通して、行えるように計画する。(一学期○時間、二学期○時間、三学期○時間など)

	1	2	3	4	5
0分	・集合、整列、あいさつ ・学習の流れ、めあての確認 心と体のスイッチオン (準備運動)				
45分	楽しく運動遊びをしよう 1 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知り、やってみる。 ・できるできないに捉われず、やってみたい、もっとやりたい動きを行う。 工夫してもっと楽しく運動遊びをしよう 2 教師の言葉がけや友達との関わりをヒントに、遊び方を工夫する。 ・もっとやってみたい、できるようになりたい動きを見付けて取り組む。 ・遊び方を工夫して、もっと楽しむ。			【二学期の例】 運動遊び前半… 体を移動する運動遊び 運動遊び後半… 用具を操作する運動遊び (フープ) ※子供が「楽しく運動遊びをしよう」「工夫してもっと楽しく運動遊びをしよう」のどの段階にいるのかを教師が見取り、単元計画を柔軟に変更していくことが大切です。	
	・整理運動 ・ふり返り ・あいさつ				

工夫してもっと楽しく運動遊びをしよう

- ・もっとやってみたい、できるようになりたい動きを見付けて取り組もう
- ・遊び方を工夫して、もっと楽しくなるようにしよう

もっとやってみたい、できるようになりたい動きを見付けたり考えたりして、取り組めるようになります。そのときに、教師が子供の様子を的確に見取ることが大切です。子供一人ひとりがどのような課題を見だしているか、身に付いている動きやそうでない動きは何かなど、ていねいに確認しながら学習を進め、賞賛や価値付け、アドバイスを繰り返して行っていくことが大切です。ゲーム化するなど、楽しく夢中になって行えるようにする工夫も大切です。

遊びの広がり (動き方の工夫)

●用具を操作する運動遊び (フープ)



いろいろなことがやれそうだね。
○○な遊び方もできるんだね

ほかにもどんなことがやれそうかな？

関わり(の)広がり

●用具を操作する運動遊び (フープ)



●体を移動する運動遊び



次は○○さんの真似をして跳ぼう

上手な友達に聞いてみるのもいいね

友達の動きを真似してやってみるのも素敵だね

友達と一緒にやると楽しいね

友達とどんなことがやれそうかな？

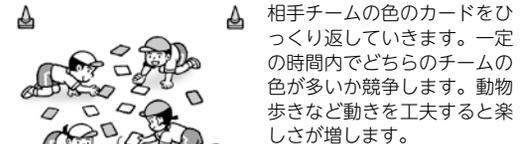
遊びの広がり (行い方の工夫)

●用具を操作する運動遊び (フープ)

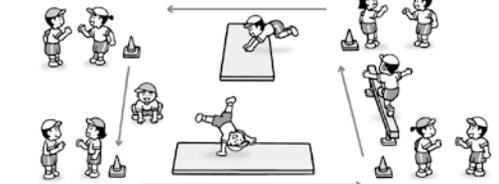


用具を変えたり、友達と競争したりするのも楽しいね

●体を移動する運動遊び (リバーシ)



(じゃんけんすごろく)



コーナーでじゃんけんをし、勝ったら進み、早く○周できるか競争します。体じゃんけんにしたり、移動の間の動きを工夫したりすると楽しさが増します。

※なお、授業を行う際には、地域の感染状況に応じて、以下の新型コロナウイルス感染症対策を講じることが考えられます。

- ・子供たちに授業前後の手洗いを徹底する。
- ・子供同士が近接する運動遊びは活動時間の1/3程度とする。
- ・決まった相手と活動する。
- ・活動中は不必要に大声を出さないようにする。
- ・ゴール地点のコーンを倒したら次の走者がスタートするなどバトンの受渡しを非接触とする。(9月号 走・跳の運動遊び)
- ・集合・整列時は子供同士の適切な間隔を確保する。 など

小一 体育科 ヒントとアイデア

はして！ つくって！ ラン・ラン・ランド

走・跳の運動遊び（走の運動遊び）

執筆：東京都品川区立第一日野小学校教諭 小林えり果
編集委員：国立教育政策研究所教育課程調査官 塩見英樹
東京都品川区教育委員会統括指導主事 唐澤好彦

年間指導計画

- 4/5月 体つくりの運動遊び（体ほぐし）
表現リズム遊び（表現・リズム）
- 6/7月 器械・器具を使つての運動遊び（固定施設）
水遊び
- 8/9月 体つくりの運動遊び（多様な動き）
走・跳の運動遊び（走）
- 10/11月 器械・器具を使つての運動遊び（鉄棒）
器械・器具を使つての運動遊び（跳び箱）
- 12/1月 ゲーム（ボールゲーム）
器械・器具を使つての運動遊び（マット）
- 2/3月 走・跳の運動遊び（跳）
ゲーム（鬼遊び）

授業づくりのポイント

走の運動遊びは、いろいろな方向へ走ったり、低い障害物を走り越えたり、リレー遊びをしたりするなかで、走る心地よさや友達と競い合う楽しさを感じる運動遊びです。体を巧みに操作しながら走るなど、いろいろな運動の基礎となる動きを身に付け、中学年の「走・跳の運動」の学習につなげていきます。

子供が夢中になって運動遊びに取り組むなかで動きを身に付けられるように、コースの設定や遊び方、言葉がけを工夫することが大切です。

また、誰もが競走に勝ったり、意欲的に運動に取り組んだりできるように、楽しい活動のしかたや運動の場の工夫を考えて授業づくりをすることが考えられます。

楽しく運動遊びをしよう

- いろいろなコースでかけっこやリレー遊びをして、走る楽しさを味わおう
- 順番やきまりを守って、友達と仲よく遊ぼう

運動遊びとの出会い

「追う」「逃げる」「いろいろな方向へ走る」といった動きが出てくる簡単な運動遊びで心と体のスイッチオン！ 走の運動遊びの行い方を知る段階では、シンプルで易しいコースから始め、走る楽しさや心地よさに気付かせるとともに、「もっとやってみよう」と意欲をもたせていきます。

ウォーミングアップ

音楽をかけてストレッチをしたり、鬼ごっこの要素を取り入れたりして、楽しみながら心と体のスイッチオン！

●まねっこラン

グループで1列に並び、先頭の走り方を全員が真似します。30秒で先頭を交代します。

●ねことねずみ

「ねこ」と「ねずみ」の2チームに分かれ、合図に素早く反応して、逃げたり追ったりします。

かけっこ遊び

30～40m程度のいろいろなコースで走ります。コースに応じて巧みに体を操作して、走る心地よさを味わいます。



楽しく遊べるコースを見つけてよう

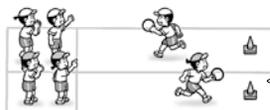
行い方を知る



うまく回れるコツを見つけてみよう

リレー遊び

はじめは簡単な折り返しリレーに取り組みます。バトンの受渡しは、タッチ、リングバトンなど、子供たちの実態に合わせて選びます。



コーンを小さく回るぞ

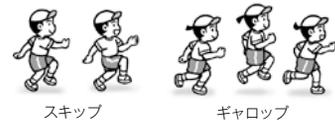
かけっこ遊び

スタートの姿勢や走り方を変えて競走します。リレー遊びにも取り入れられます。

●スタートの姿勢



●走り方



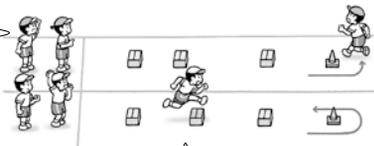
スキップやギャロップで競走しているのも楽しそうだね

工夫して楽しむ



障害物を置いて子供たちがコースを作ったり、チームで協力して競走したり、考えながら取り組むことを中心とします。

次はダンボールの間を広くしたり狭くしたりして、コースを作ってみよう！



スピードを落とさないように走り越えるぞ！ 赤チームに勝つぞ！

ダンボールの数は変えずに、チームで置く場所を決めてみよう。もっと楽しくするにはどうしたいかな。友達の走り方を真似してみたんだね。ナイス！

※新型コロナウイルス感染症対策については、8月号を参照。

単元計画

1 単元5時間扱いを年2回行い、計10時間行う予定です。本単元の前半は楽しみながら行い方を知ること、後半は友達と協力し工夫して運動遊びを楽しむことに重点を置いています。

	1	2	3	4	5
0分 ↓ 45分	楽しく運動遊びをしよう			工夫してもっと楽しく運動遊びをしよう	
	・集合、あいさつ				
	1 ウォーミングアップ 2 単元の説明 3 場の準備 4 かけっこ遊び ・準備のしかた、かけっこ遊びの行い方を知る。 ・スタートのしかた、走り方の工夫を知る。	1 ウォーミングアップ 2 学習の流れの確認 3 場の準備	4 かけっこ遊び ・くねくね、ジグザク、まっすぐなどいろいろなコースで走る。 ・スタートのしかたや走り方を工夫して走る。	4 かけっこ遊び ・コースや遊び方の工夫を選んだり考えたりしてもっと楽しく走る。 ・コースを作ったり競走したりする。	5 リレー遊び ・今までの経験を生かしてコースや遊び方を選んで取り組む。 ・チームごとに協力してコースを作り、コースを交換して競走する。
	・整理運動 ・ふり返り ・片付け ・あいさつ				

工夫してもっと楽しく運動遊びをしよう

- ・コースや遊び方を工夫して、みんなでもっと楽しもう
- ・友達のよいところや楽しい遊び方をまねして、もっと楽しく運動遊びをしよう

子供たちがもっと楽しく運動遊びに取り組めるよう、いろいろな用具を試したり友達とさらに関わったりすることが求められます。そのため教師は、楽しく遊べるコースや遊び方を子供自身が選んだり考えたりすることや、友達のよい動きを互に見付けたりすることができるようにしていきます。

遊びの広がり

いろいろな物を使ってオリジナルコースを作ります。同じ長さのロープを使って別のコースを作ったり、いろいろな障害物を使ったコースを作ったりします。友達が作ったコースを走ったり、競走したりすることで楽しさが広がります。

かけっこ

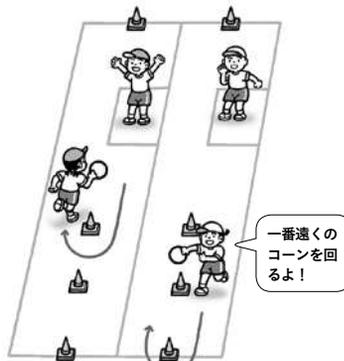
●いろいろなライン競走



対戦相手のコースを作ってみよう！どんなコースが楽しいかな？

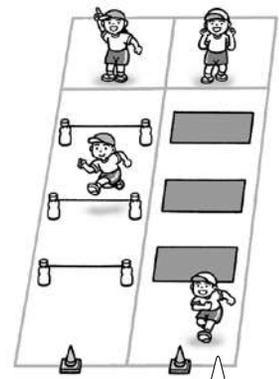
リレー遊び

●ワープリレー



楽しく遊べるコースや遊び方を見付けてみよう！

●いろいろな障害物リレー



障害物の例

コーン、タイヤ、ダンボール、ペットボトル、シート

よい動きの賞賛・価値付け

子供たちの思いや願いを見取り、学習内容につなげる言葉がけや賞賛を積極的に行うことが大切です。



工夫を紹介する際には、ふり返りの時間を活用しましょう。「発見したこと」や「友達のよかったところ」を発表したり、実際みんなでやってみたりすると、次時の活動への意欲が高まり、授業が楽しみになります。実際に走っている姿やコースを見せたいなど、子供たちの活動中に紹介したいときは、集合する回数をなるべく少なくすると、子供たちが運動遊びに夢中になって取り組む時間を長くとることができます。